

アベロックス錠400mg

【この薬は？】

販売名	アベロックス錠400mg Avelox Tablets 400mg
一般名	モキシフロキサシン塩酸塩 Moxifloxacin Hydrochloride
含有量 (1錠中)	436.8mg (モキシフロキサシンとして400mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系経口抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌のDNA（デオキシリボ核酸）の複製に必要な酵素の作用を妨げることにより、細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

<適応症>

- 表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症
- 外傷・熱傷及び手術創等の二次感染
- 咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染
- 副鼻腔炎

<適応菌種>

モキシフロキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、アクネ菌、肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ）、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでください。指示通りにきちんと飲まない、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示通りに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にアベロックス錠に含まれる成分や、他のキノロン系抗菌剤で過敏症のあった人
 - ・肝臓に重い障害がある人
 - ・QT延長のある人
 - ・低カリウム血症の人
 - ・抗不整脈薬（キニジン、プロカインアミド、ジソピラミド、シベンゾリン、ピルメノール、アミオダロン、ソタロールなど）を使用している人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人（動物実験で、流産の報告があります。）
 - ・小児
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・てんかんなどでけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんなどでけいれん発作をおこしたことがある人
 - ・重い徐脈などの不整脈、急性心筋虚血などの不整脈をおこしやすい人
 - ・重症筋無力症の人
 - ・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人
- この薬には併用してはいけない薬[抗不整脈薬（キニジン、プロカインアミド、ジソピラミド、シベンゾリン、ピルメノール、アミオダロン、ソタロールなど）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人は、画像検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量は、1日1回1錠です。

なお、体重が40kg未満の人では、錠剤の半分を飲む場合もあります。

この薬は原則として皮膚科領域感染症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎お

よび慢性呼吸器病変の二次感染に使用する場合は7日間以内、肺炎および副鼻腔炎に使用する場合は10日間以内です。

● **どのように飲むか？**

コップ一杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

● **飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

● **多く使用した時（過量使用時）の対応**

QT延長（気を失う、動悸（どうき））があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ショックやアナフィラキシーがあらわれることがあるので、過去にアレルギーがあった人や薬で過敏症のあった人は、医師に伝えてください。
- ・意識がなくなることやめまいがおこることがあるため、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。患者さんや家族の方はこれらの副作用があらわれることについて十分理解できるまで説明を受けてください。
- ・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛みなどの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。これにより画像検査が行われることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は、この薬を使用することはできません。（動物実験で、流産の報告があります。）妊娠の可能性があるときは、ただちに医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・高齢の人は、腱障害があらわれやすいので、腱周辺の痛み、浮腫、発赤等の症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー（血管浮腫等） アナフィラキシー（けっかんふしゅなど）	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、声が出にくい

重大な副作用	主な自覚症状
心室性頻拍 (Torsades de pointes を含む) しんしつせいひんぱく (トルサードポアントをふくむ)	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
QT延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、水のような便が出る、便に血が混じる (鮮紅色～暗赤色)、激しい腹痛、嘔吐 (おうと)、下痢
アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 あきれすけんえん、けんだんれつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
錯乱、幻覚等の精神症状 さくらん、げんかくなどのせいしんしょうじょう	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステューブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (トキシックエピダーマルネクロライシス: テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる (鮮紅色～暗赤色または黒色)
肝炎 (主に胆汁うっ滞性) かんえん (おもにたんじゅううったいせい)	食欲不振、吐き気、嘔吐、体がだるい、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き



重大な副作用	主な自覚症状
	気、食欲不振
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん 意識の低下
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりよくしょうのあつか	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
大動脈瘤 だいどうみやくりゅう	声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦しい、食べ物が飲み込みにくい、胸の痛み、背中の痛み、腹痛
大動脈解離 だいどうみやくかいり	激しい胸の痛み、激しい背中の痛み、激しい腹痛
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
過敏性血管炎 かびんせいけっかんえん	皮下出血によるあざ、じんま疹

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、顔や手足の筋肉がぴくつく、体がかゆくなる、急激に体重が増える、体がだるい、疲れやすい、力が入らない、けいれん、脱力感、むくみ
頭部	短時間、意識を失い倒れる、めまい、意識の消失、気を失う、頭痛、一時的にボーっとする、意識の低下、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、急な意識の低下
顔面	顔面蒼白、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、血の気が引く
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる、まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える
口や喉	喉のかゆみ、喉がつまる感じ、声が出にくい、吐き気、唇や口内のただれ、血を吐く、嘔吐、食べ物が飲み込みにくい、咳、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる
胸部	動悸、息苦しい、胸の不快感、息切れ、胸の痛み、激しい胸の痛み
腹部	腹痛、お腹が張る、食欲不振、上腹部痛、お腹がすく、激しい腹痛
背中	背中の痛み、激しい背中の痛み
手・足	手足が冷たくなる、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、

部位	自覚症状
	注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、手足のふるえ、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、皮膚が黄色くなる、皮下出血によるあざ
筋肉	筋肉の疲労感、筋肉の痛み
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、水のような便が出る、下痢
尿	尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる、尿量が減る

【この薬の形は？】

形状	割線入りフィルムコーティング錠 	
PTP シート	表 	裏 
直径	長径：17.0mm、短径：7.0mm	
厚さ	5.7mm	
重さ	700mg	
色	淡灰赤色	
識別コード	M 4 0 0	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	モキシフロキサシン塩酸塩
添加剤	結晶セルロース、乳糖水和物、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 4000EP、三二酸化鉄、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。

- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●**薬が残ってしまったら？**

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：バイエル薬品株式会社(<https://www.pharma.bayer.jp/>)

電話：0120-106-398

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、弊社休日を除く)